

自立循環型住宅 評価結果

■評価マニュアル：自立循環型住宅への設計ガイドライン

■評価ソフト：自立循環型住宅 評価ソフト Ver. 1.7a

■評価者：江島真由子

1-1 建物概要

■建物名称	T邸
■竣工年月	2009/1/31
■建設地	福岡県筑紫野市
■気候区分	IV地域
■敷地面積	223.65㎡
■延床面積	101.19㎡
■家族構成	4人(夫婦+子供2人)
■暖房方式	部分間欠暖冷房

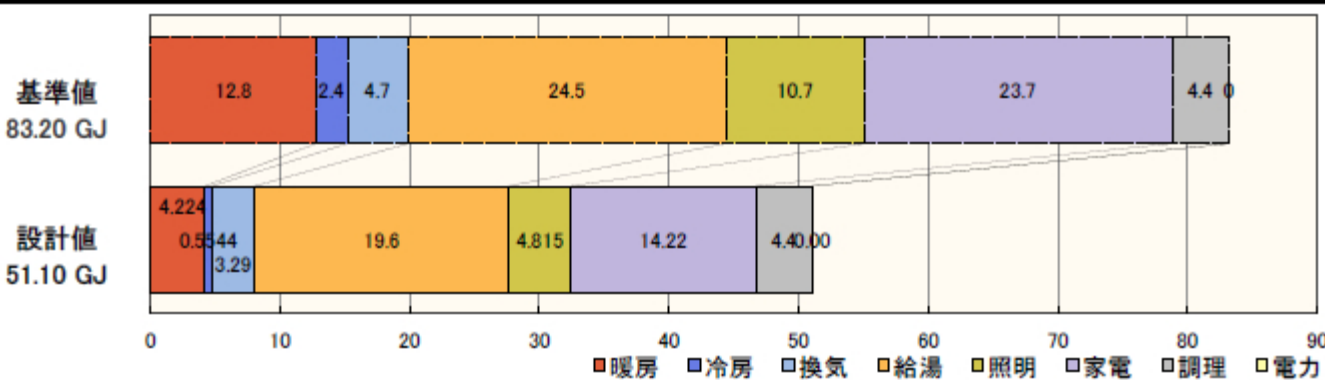
1-2 建物写真



2-1 省エネルギー性能 (GJ)

エネルギー削減率

38.58%



2-2 経済性能

単純償却年数

21.67年

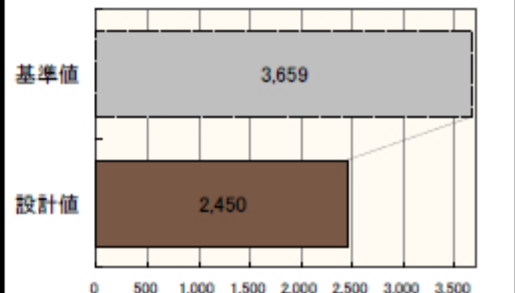
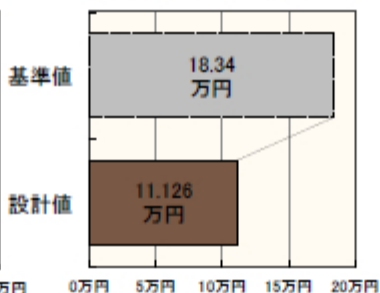
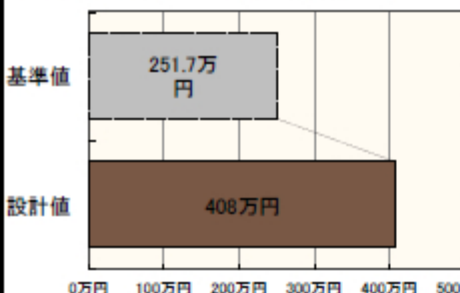
2-3 環境性能

33.04%

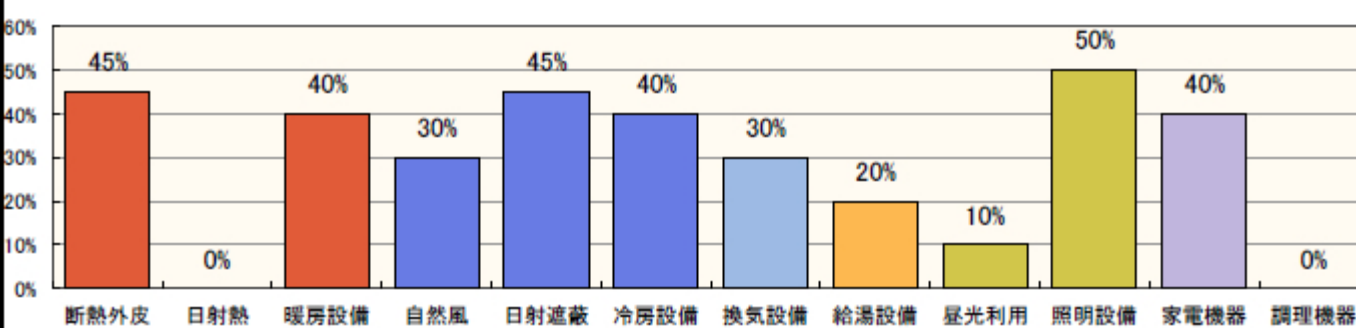
イニシャルコスト 156.3万円 増

ランニングコスト 7.2万円/年 減

CO2削減量 1209kg-CO2/年 増



2-4 各項目の削減率



3 設計上の配慮事項

1.暖房	断熱外皮計画	Q値:2.4 屋根:ウールプレスt185+ヒートストッパー 外壁:ウールプレスt120 基礎:コリグラスt40+スタイロフォーム3種t30
	日射熱の利用	集熱開口部面積16% 開口部熱貫流率3.49w/m2k(一部2.91w/m2k)
	暖房設備計画	薪ストーブ
2.冷房	自然風の利用	屋根面を利用した自然風の取り込み手法、温度差換気の利用、室内通風性能向上手法
	日射遮蔽手法	開口部日射侵入率0.27
	冷房設備計画	
3.換気	換気設備計画	局所換気扇による24時間換気計画
4.給湯	給湯設備計画	エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯器)
5.照明	昼光利用	全ての居室が2面採光
	照明設備計画	電球型蛍光灯ランプ・センサースイッチ・タイマースイッチ・多灯分散照明方式
6.家電	高効率家電機器	
7.その他(調理)	調理機器	
8.電力	太陽光発電	

※評価は自立循環型住宅への設計ガイドライン(財団法人 建築環境・省エネルギー機構)を基本に、家族構成、気候区分、暖房方式の基準値を独自に定めたものです。